

## 脱炭素事業に関する村民説明会【日岐区】開催要旨

日 時	令和5年7月20日（木）午後7時～午後8時15分
場 所	日岐生活改善センター
参加者	17名（村民15名、議員2名）

### 【質問者】

今は環境省から内定があった段階とのことですが、それが内定ではなくなるにはどのような段取りなるのでしょうか。

### 【村づくり推進室長】

事業の内定とは、事業を進める意思があればこのまま進めることができると環境省より認められた状況です。今後、交付申請や交付決定等の事務手続きを進めていく予定です。事業計画や方向性に対して内定をいただいております。令和6年度からの本格着手に向けた調査も含め、本年度から実際どのようにするか細かい部分についても考えております。

### 【質問者】

これまでの説明会で、皆さんが気にしていることを教えていただきたいです。

### 【村づくり推進室長】

これまでいただいたご質問やご提言、またこれからも様々なご意見をいただくとありますが、その内容は取りまとめて公表し、皆様にご覧いただけるよう整えたいと思います。

また、お問い合わせについては専用窓口を設けることなどを検討しております。

### 【質問者】

電気代が安くなると聞きますが、具体的にどれくらい安くなるのでしょうか。

### 【村づくり推進室長】

株式会社いくさかてらす（以下、「いくさかてらす」という。）への契約切り替えと敷地内への太陽光パネル等設置にご同意いただける民家の軒数によりませんが、現在の電気料金より1割から2割安くなると考えております。設置状況などに応じてさらに幅広がる可能性もあります。また改めてお示ししたいと思います。

もう1つ多かった質問は、太陽光パネルや蓄電池の更新についてです。更新費用も含め、いくさかてらすの負担で行っていきたくと考えています。

**【質問者】**

どのくらいの民家への設置を見込んでいますか。

**【村づくり推進室長】**

計画では全戸700世帯のうち400世帯を目標としております。今年度、各家庭に対して意向確認を行いたいと思います。

**【質問者】**

対象となる民家に空き家は含まれますか。

**【村づくり推進室長】**

皆様が暮らしているお家です。

**【質問者】**

資料11ページ中「生坂村脱炭素シナリオ」と「積極的前倒しシナリオ」では、60億円という事業費や色々な人が知恵を出したり動いたりした割には効果が薄いと思いますが、コストパフォーマンスやタイムパフォーマンスについてどのようにお考えですか。

**【村づくり推進室長】**

太陽光発電事業は、設備設置後およそ15年間で投資回収を見込んでおります。今後、経済性の試算を行い進めていきたいと考えております。

**【質問者】**

投資回収とは、いくさかてらすに入る利益ということですか。

**【村づくり推進室長】**

おっしゃるとおりです。PPA事業における設備利用料等の収入から利益を出すことを考えております。

**【質問者】**

いくさかてらすが儲かった場合、村は潤うのでしょうか。

**【村づくり推進室長】**

太陽光パネルの耐用年数はおよそ25年ですが、本事業では設備設置後およそ15年間の投資回収を見込んでいます。よって残り10年間は利益になり、地域に還元できる他のエネルギー政策に活用し、展開していきたいと考えております。

**【質問者】**

今回の計画を見ると全体的に電気へのシフトについて書かれている印象ですが、ソーラーパネルのエネルギー変換効率はどれくらいで見込んでいますか。

**【村づくり推進室長】**

変換効率の具体的な数字は、改めてお示しいたします。

国交付金の達成目標は、2030年までに一般家庭の二酸化炭素排出を実質ゼロにすることです。生活する上で二酸化炭素排出をゼロにすることはできません。「実質ゼロ」とは、地域内の電力消費量に相当する再生可能エネルギーを生み出すことを意味します。

**【質問者】**

ソーラーパネルを多く設置すれば、民生部門のCO2排出実質ゼロになるということですが、それらの既存のエネルギーを使うことと大きく変わらないと感じますが、どう思いますか。

**【村づくり推進室長】**

再エネ由来の電気を地域内で生み出し、自然エネルギーに転換することに意味があります。太陽光発電が事業割合として最も多くなりますが、村の特性を生かして木質バイオマスや水力の活用など、様々な手法を組み合わせたいと思います。

**【質問者】**

太陽光パネルの変換効率が約20%であるのに対して、太陽熱温水器の変換効率は約60%だそうです。ぜひ、効率の良いものを投入していただきたいです。

また、海外からの輸入が必要となるものや色々な素材を使わなくてもいいもの、例えば、保育園や小中学校の給食から出る廃油を活用したバイオディーゼル燃料バスなどをもっと取り入れていただきたいです。滋賀県のある自治体では、家庭で出た廃油をバスケットと交換できる仕組みがあるそうです。とてもいいと思いました。このようにもっと生活に実感のある取り組みを進めてほしいと思いました。

**【村づくり推進室長】**

今後、新しい技術や手法が研究開発されると思います。村に取り入れられる技術等については、引き続き検討していきたいと考えております。

**【質問者】**

村長にお伺いします。

この事業は、村の単年度予算約20億円に対して、1年間で約10億円の事業費です。専門のプロジェクトチーム等を立ち上げる考えはありますか。

**【藤澤村長】**

専門のプロジェクトチームではなく、外部から監査していただける方を考えております。

マンパワーが不足していることは事実ですので、村で新たに雇用することや外部委託することを含めて検討していきたいと考えております。

事業実施にあたっては一般競争入札等を行い進めていきたいと考えています。当初予算が約20億円の当村にとって、6年間で約60億円の総事業費という本当に大きな事業です。このうち、一部は村負担ですが、私はそれに見合った効果が望めると考えています。子ども・孫の時代まで持続可能な生坂村を構築するために、この事業を成し遂げたいと考えています。

**【質問者】**

外部委託する場合は、村への経済効果や雇用創出のための仕組みを精査できるよう、役場内の人員体制を整えていただきたいです。

また、希望者する村民が株式会社の株主として入るなど、村民も直接利害関係を持つような仕組みを作っていただきたいです。

**【藤澤村長】**

今後、村民の皆様も株が購入できる仕組みを検討したいと思います。

**【質問者】**

他地区の説明会でいくさかてらすの株数や役員構成が出ましたが、HiTTiSYOとエコロミはどんな会社ですか。

**【村づくり推進室長】**

HiTTiSYOは、5月まで地域おこし協力隊員として松本山雅と村のパイプ役や企画関係を担当した方が、卒業後に村内で起業した会社です。また、株式会社エコロミは、村の脱炭素ロードマップ策定のための計画づくり支援事業を委託した会社です。

**【質問者】**

いくさか『創造の森』は何を目指していく場所、どんなことを行う事業なのでしょうか、詳しく説明してほしいです。

また、松本山雅はどういうことを発信したり、取り組んだりしてくれるのでしょうか。

**【村づくり推進室長】**

いくさか『創造の森』は元々遊休地だったところで、地元からの要望もあり、新たに自然エネルギーハウスのオフグリッドハウスの建設を計画しています。併せて、有機農業の実践や脱炭素スタイル提唱の場として活用していきたいと考えています。

また、全国的に脱炭素の機運がドミノ倒しのように横展開していくことを国は求めています。松本山雅の広報力を活かして、村外への普及啓発に向けた取り組みも検討してまいります。

**【質問者】**

風力発電や営農型太陽光発電、農地を利用した発電等は検討していきますか。

**【村づくり推進室長】**

令和4年度にゼロカーボン推進プロジェクト会議において、風力発電についても検討しましたが、風の安定性や資材の運搬・設備設置の点で実施は難しいと判断しました。

**【質問者】**

遊休地に太陽光発電設備を設置する場合、木の伐採や整地も対応してもらえるのでしょうか。

**【村づくり推進室長】**

野立ての太陽光発電設備の設置候補地は、地区と調整しながら決めていきたいと考えております。

加えて、遊休地への太陽光発電設置規模は、敷地内に設置できない場合に活用することを考えておりますので、実際必要な遊休地の面積は、今後調査を行い確認していきたいと思っております。

**【質問者】**

脱炭素実現に向けて村民が協力できることは、屋根や土地、遊休地を無償で貸すことで、それによって受けられるメリットは、提供される電気料金が1～2割安くなることでよろしいですか。

**【村づくり推進室長】**

おっしゃる通りです。それに加えて、PPA事業を15年で投資回収した後に、いくさかてらすにおいて更なる再エネ事業の推進と地域に還元する仕組みを作っていきたいと考えております。

電気料金については、太陽光パネルを敷地内に設置する場合と、遊休地に設置した設備から供給を受ける場合で、料金に差をつけることを検討していますが、いずれにしても現在の電気料よりは安い設定にすることを考えています。

**【質問者】**

日岐区の民家で設置可能な軒数が示されていますが、その内訳を知りたいです。

**【村づくり推進室長】**

築年数などをもとに設置可能な軒数を出しております。ただし、資料上での見立てであることと、屋根以外にも設置できる場所がある可能性もありますので、今後個別に設置できる状況を調査したうえで実際の設置可能軒数を確認していきたいと思っております。

**【質問者】**

太陽光パネルによる人体への影響が心配です。設置する際は必ず村民に意見を聞いて安全な場所で設置していただきたいです。

**【村づくり推進室長】**

確認を取りながら進めていきたいと考えております。

**【質問者】**

日岐区内は日照条件が悪く遊休地等に設置できないとなった場合、他地区からの供給を受けることとなりますが、他地区と料金に差は出ないのでしょうか。

**【村づくり推進室長】**

今年度、日照条件等の詳細な条件についても調査を行いながら設備設置を調整してまいります。

また、敷地内を無償で提供していただく場合と、遊休地に設置した設備から供給を受ける場合では料金の差が生じますが、詳細な料金設定についてはこれから決定

してまいります。

**【質問者】**

すぐに導入したいという人もいれば、先行導入した人の様子を見たいという人もいると思います。例えば、太陽光パネル設置後に家を売却する際、電気使用契約の解除などに縛りはあるのでしょうか。

**【村づくり推進室長】**

本年度は調査及び確認から行い、工事は令和6年度より始めていくことを考えております。

基本的には15年程度の長期契約を想定していますが、転居など個々の事情に応じて、途中での契約変更などに関する対応を検討していきたいと思います。

**【質問者】**

数年後、パネルや蓄電池の買い取りは可能ですか。

**【村づくり推進室】**

パネルや蓄電池はいくさかてらすの所有物であり、会社と契約して設置させていただくものです。国の補助金も活用していますので、現時点で結論を出すことができません。

**【質問者】**

この事業の進捗を村民が把握できるような方法はありますか。

**【村づくり推進室】**

ある程度方向性が固まったところで、皆様に見ていただけるものをお示ししていきたいと思います。

**【質問者】**

事業の進行状況が知りたいです。一度説明しただけでどんどん進んでしまうと、村民は困ると思います。

**【藤澤村長】**

これから調査設計を行い、1月から2月にかけてなるべく具体的にお示ししながら説明会を開催する予定です。令和6年度から事業着手ですが、進捗状況の報告方法は今後検討いたします。説明会は頻繁に開催できませんので、ICNや村ホームページ、広報いくさかなど、なるべく多くの皆様に知っていただける方法を検討してまいります。

**【質問者】**

小水力発電の見通しはどうなっているのでしょうか。実現可能なのでしょうか。

**【村づくり推進室】**

東京電力とはこれまでも協議を行っていますが、改めて本格的な協議調整を行い進めてまいります。また、進捗状況を示していきたいと思っております。

**【総務課長】**

大変お疲れさまでした。本日の説明会に対して、村長より御礼を申し上げます。

**【藤澤村長】**

お疲れのところ、長時間にわたり皆様から多くの貴重なご意見・ご質問、そして建設的なご提言も頂戴しありがとうございました。

本当にご心配なことは、こちらも重々わかっております。私としても、約20億円の当初予算に対して約60億円の総事業費というのは今までにない事業です。

私、4期16年間で村民の皆様のご理解とご協力をいただき、基金貯金を約13億円増やし、借金起債を約20億円減らしました。この基金を活用しながら、大きな事業をしっかりと成し遂げたいと思っております。

子供たち、孫たちがこの生坂村で安全安心に長く暮らしていけるような、そんな生坂村を構築していかなければ、生坂村はあり得ないと思っております。人口減少、少子高齢化は歯止めがかかりません。全国の中山間地域が同様ですが、それをどうにか打破するには、この事業をぜひ成し遂げたいと思っております。それには皆様のご理解とご協力がなければできない事業でございますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

以上